

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	尾道市立向東中学校 全校生徒（220名）、教職員（16名） 保護者・地域の方（20名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① その他（ 道徳の時間 ）
4 目標（ねらい）	○オリンピックから直接話を聴いたり、実技指導を受けたりすることを通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた興味・関心を高める。 ○オリンピックの講演から、目標を持って努力することの大切さ、諦めない心の持ち方などを学ぶとともに、自分の生活を振り返り夢や目標を持たせる。
5 取組内容	○講師（廣田遥選手）について紹介 ○感想文、アンケートの実施 ○学校日より、学年日よりで感想等の発信 ○教職員への本事業の目的の周知
6 主な成果	○オリンピックの話に引き込まれ、集中して聴くことができた。 ○大きな目標を立て、それに向かって小さな目標の達成を積み重ねていく大切さを学んだ。 ○夢や目標を持ち、実現のために粘り強く取り組む心の強さを持つことの大切さを学んだ。 ○自分の経験と重ねたり、自分の生活を振り返ったり、今後の生活に向けた目標や決意を見つけることができた。 ○オリンピック・パラリンピックに関心が高まり、自分ができる形（ボランティア等）で、関わりたいと思った生徒もいた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	○保護者・地域にも実施について広報した。 ○事前指導として、講師の現役時代の功績や映像を見せた。また、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるため、クイズ形式で指導した。 ○全員で見送りをし、講師と触れ合える場をつくった。
8 主な課題等	○事前学習や事後学習の内容を充実させる。 ○実技指導を受けたい生徒がいた。（今年度は、設備等の関係で実技指導を受けることができていない。） ○体育理論とオリンピック・パラリンピック教育をからめた指導を計画的に行う必要がある。

9 来年度以降の 実践予定	○ボランティアや共生社会についての興味・関心を持たせる取組を行いたい。 ○来年度もオリンピック・パラリンピアンと触れ合えるような事業に参加したい。
------------------	------------------------------------------------------------------------------